



この度の大震災により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。
また一日も早く復旧されますよう心からお祈り申し上げます。

今年度の事業活動特集

コンソーシアムのさらなる発展に向けて

学際生命科学東京コンソーシアムとして活動をはじめ、3年目を迎えました。昨年度、新たに行った事業として、各大学の特色を活かした講義を受講できる「共通カリキュラム」の運用、大学院生の就職支援を目的とした「企業説明会」や「インターンシップ」、そしてインターンシップという枠を超えた「学外特別研修」の実施、より高度な講義内容が聞ける「市民公開講座」、文京区内の中学校での「理科実験支援」の開催、留学生の交流として文京区主催の「国際フェスタ」への参加などを行ってきました。今年度は、昨年度実施した事業をさらに拡大・充実させ、今後の活動として定着できるよう努めております。そのためにも4大学の学生や教員、4大学のある地域の皆様並びにご協力いただく企業の皆様には今後とも一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い致します。

【教育高度化部会】

「共通カリキュラム」は今年度の科目数が昨年度の57科目から79科目に増え、受講者の総数も昨年度に比べて50%アップしました。共通シラバスには新たに代表的な職種に分けた履修モデルが加わり、大学院OB & OGや各分野の企業や官公庁の方々から「大学院で身につけておくべき知識や技術」に関する貴重なアドバイスも掲載しております。いま社会が必要としている人材を知り、自らのキャリア形成のために共通シラバスから適切な履修の選択がなされることを期待しております。

昨年度より4大学内の教員による「課題研究中間アドバイス制度」や「学位審査(外部審査委員)」を実施しております。実際に審査を受けた大学院生から「所属大学の教員に加えて、連携している大学の先生にも審査に加わっていただいたおかげで、多面的な観点から非常に有益なアドバイスが得られたことで大変満足しています。」という感想をいただきました。生命科学関連の幅広い分野の教育と研究を望んでいる大学院生はぜひこの制度をご活用下さい。

【産学地域連携部会】

毎回ご好評をいただいております「市民講演会」は4大学の教員の講演や著名人による特別講演を実施しております。今回は10月29日に『限りなく広がるいのちの科学～環境といのち～』というテーマで学習院大学にて実施します。また、より最先端の研究内容を紹介している「市民公開講座」も実施しております。今回は10月28日に『生物の形作りとヒトの病気、匂いの遺伝学』というテーマで文京シビックセンターにて実施します。市民講演会や市民公開講座に関する詳細は裏面にてご確認ください。

「ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム」では、最先端領域で研究成果を上げている4大学の教員によるバイオテクノロジー講義、グローバルビジネスの最前線で活躍中の弁理士・弁護士・企業人による特許講義や特許に関連したバイオビジネス講義を受講することができます。受講生は4大学の学生や企業にて特許や知的財産に関する業務を担当されている方もいらっしゃいます。毎年最先端の内容で行っておりますので、ライフサイエンス分野の知的財産権についてご興味のある方はHPでご確認ください。

「理科実験支援事業」は昨年度『身近な感覚を科学で解き明かす』をテーマに4大学の教員が文京区立中学校全10校で実施致しました。今年度は港区内の中学校でも実施する予定です。

【学生支援部会】

昨年度より行っている「インターンシップ」と「学外特別研修」は、今年度5社の企業様のご協力により、実施しております。インターンシップ11名、特別学外研修24名が学内での事前マナー研修にて基本マナーを習得し、インターンシップや学外特別研修に参加する予定です。また「合同企業説明会」については10月～11月の間に数回開催する予定です。来年度に就職を希望する学生の皆様のご参加をお待ちしております。

「留学生支援」として、日常生活から大学講義の聴講やレポート作成等、様々なレベルの日本語学習が行える『日本語教育プログラム』を4大学共通カリキュラムに追加しました。また文京区が主催している『国際交流フェスタ』に今年度も参加する予定です。留学生の皆様だけでなく、学生や地域の方々のご参加をお待ちしております。



市民公開講座



国際交流フェスタ

「ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム」をふりかえって②

平成 21・22 年度に開催したライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラムを修了された三木昭三さんは、今春より東京医科歯科大学大学院 膠原病・リウマチ内科に在籍しております。薬剤師の免許をお持ちになっている三木さんは米国ミズーリ州立大学にて化学を修得された後、化学会社に22年間勤務され研究職や特許関連の業務を担当されてきました。定年退職後、専門知識を活かした翻訳業務を行う会社を設立されるかたわら、医学及び医学英語を学ぶために東京医科歯科大学老年病内科の専攻生として在学され学術博士号を取得されました。その後、今までにご担当されていた医学・化学の翻訳だけでなく価値ある内容のものを海外への特許権取得へ拡張することを目指し、このプログラムに参加されたそうです。三木さんにこのプログラムについてお話を伺いました。

「実際に業務に携わっていた“特許法”や“バイオビジネス”については、さらに知識を深めるものとなりました。“バイオテクノロジー”の講義内容はバラエティーがあり、最先端の研究内容を聞くことができました。授業全体としてとても有意義なものだったので、研究や企業で業務に携わっている人には知識が深まったと思います。」

さらにこのプログラムを受講しようと考えている人にアドバイスを頂きました。

「知的財産権を学ぶということは個々の専門領域における研究だけでは不十分で、ビジネスにおける実務を経験して学ぶということです。これは決して易しいことではありませんが、自分がビジネスをする上で知っていて損はないはず。ぜひ多くの皆様にこのプログラムを受講して頂きたい。」

数年前より患ったリウマチの治療により、ますます医学に興味を持つようになった三木さんは「病気を治す薬を作るには、まず病気の原因を知らなくてはいけない。医学系の大学院に進学し、何か役に立つ薬を見つける。」という思いが強くなり、大学院に進み研究者の道を選択されました。三木さんの今後の益々のご活躍を祈願致します。

今後により多くの皆様が本プログラムを受講され、新たな一歩を踏み出せるお手伝いができれば幸いです。



三木昭三さん

お知らせ

●最先端生命科学講座(市民公開講座) 開催します

東京医科歯科大学難治疾患研究所にて研究している最先端医療を、市民の皆様に分かりやすく紹介します。今回は、「生物の形作りとヒトの病気、匂いの遺伝学」の紹介を2人の講師が担当します。ぜひご聴講下さい。

詳細は URL : <http://www.tmd.ac.jp/mri/> をご覧ください。

日時：平成 23 年 10 月 28 日 (金) 19:00 ~ 21:00

会場：文京シビックセンター 5階 会議室C

プログラム：

『生物の形作り：カエルの形態学と疾患研究の関わり』

後藤 利保 (東京医科歯科大学難治疾患研究所・准教授)

『匂いの遺伝学』

新村 芳人 (東京医科歯科大学難治疾患研究所・准教授)

●第5回 市民講演会 開催します 「限りなく広がるいのちの科学 ～環境といのち～」

毎回大変ご好評を頂いております市民講演会を以下の日程にて開催致します。今回は環境といのちとの関わり合いについて、多彩な講演者がわかりやすくお話しします。

日時：平成 23 年 10 月 29 日 (土) 13:30 ~ 17:00

会場：学習院大学 西5号館 B1 教室

主催：学際生命科学東京コンソーシアム

学習院大学
お茶の水女子大学
北里大学
東京医科歯科大学

後援：豊島区

入場：無料 (事前申込不要)

講演内容：

『ラジオエコロジー：放射線の環境と生態系への影響』

村松 康行 (学習院大学理学部化学科・教授)

特別講演『環境からの放射線による人体の健康影響について』

田代 聡 (広島大学原爆放射線医学研究所・教授)

『あなたのまわりに潜む環境汚染物質から身を守る』

清野 正子 (北里大学薬学部・准教授)

『いのちが引き継ぐエピゲノム模様：環境とエピゲノムと健康について』

佐藤 憲子 (東京医科歯科大学難治疾患研究所・准教授)

『子どもの生育環境と発達』

榎原 洋一 (お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター・教授)

連絡先：学習院大学・コンソーシアム事務局

TEL：03-3986-0221 (内線 3602)

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/sci/bio/life_science.htm

●ニュースレターの電子配布希望者募集！

本コンソーシアムの活動内容を記載しているニュースレターを電子配布でも行います。希望者の方は、お名前、メールアドレス (携帯電話のメールは不可) を①メール：gakusai.ict@mri.tmd.ac.jp、② FAX：03-5803-0353、③ TEL：03-5803-4937 のいずれかの方法にて事務局までお知らせ下さい。